



岩井美保子議員

### 観光交流センターの 場所は適地か

#### 総合的に勘案し決定

**問** 観光交流センター整備事業に、総額1億5千万円の予算が計上されている。

(1)用地費・補償費の金額。  
(2)名和インターチェンジ付近が本当に適地か。大山支所はどうか。  
(3)この事業で、補助金を使ってしまえば、あとの事業への影響はないか。

#### 答 (山口町長)

(1)用地取得費の4、693万7千円は、近隣の実勢売却価格を参考にしているが、今後不動産鑑定士による当地の鑑定評価を行い、売却価格を決定したい。補償費5百万円は、ビニールハウスや倉庫等の移転補償費を見込んでいる。

(2)「大山恵みの里づくり計画」の中に、大山観光への玄関口となる観光、物産、情報の総合的な拠

点づくりの必要性が示され、そのグラウンドデザインには名和インター付近が適地とされていること。さらに名和インターの料金所予定地であった広大な空き地を駐車場等に活用できることになったことなど総合的に勘案して

の場所に決定した。大山支所に整備する考えはない。  
(3)今回の事業は、国土交通省のまちづくり交付金事業である。特定のエリアを定めて行う事業であるため、他のエリアでの活用が可能である。



観光交流センター建設予定地を調査

### 大山診療所の事後処理は

#### 誠意をもって取り組む

**問** 大山診療所の存続にほっとしたものの、事後処理が大変である。職員今後の処遇や入院患者の転院等はどうなるのか。町長の説明責任は。

#### 答 (山口町長)

大山診療所医師の負担の軽減を図るため、4月から一般病床10床、介護病床9床を廃止し、外来診療だけにしよう準備を進めている。医師の交代と入院の廃止に伴い、職員は6月末を区切りとし、意向を聞きながら、

再就職先を支援していきたい。  
入院中の患者さんやご家族には、経緯を説明し理解をいただくなかで、5月末をめどに転院先を紹介したい。

7月から新しい医師の

もと、新たな体制でスタートする予定であるが、地域医療における大山診療所の役割は大きく、医師の確保ができたことで現時点では、最善の判断をしたと考えている。



外来診療だけになる大山診療所



田中先生